

令和5年度一般選抜前期日程
小論文C（社会選修）
解答例

【評価の観点】

	社会的事象に関する関心・基礎知識・理解	資料読解	社会的思考・判断・表現
問1	○		
問2		○	
問3	○	○	◎

【採点基準】

問1

日本はなぜ人口減少に突入し、これからも人口が減り続けるのか、そのメカニズムを指定字数内でまとめているか。

(社会科、地歴科、公民科における日本の人口動態に関する学習内容に対する基礎知識・理解)

問2

問題の文章をふまえ、筆者が主張したいことを、指定字数内でまとめているか。

(本文資料の読解)

問3

問題の文章をふまえ、今後の人口減少時代の社会についての自分の考えを、指定字数内でまとめているか。

(社会的思考・判断及び論理的思考・表現)

【解答例】

問1

出生率の低下と死亡率の低下が同時期に進む少子高齢化が他国に例をみない短期間に加速度的に進行する段階を経て、なお出生率の低下傾向に歯止めがかからず、死亡者数が常に出生者数を上回り、人口の減少が続く。100

問 2

人口減少がもたらす問題とされるものの多くは、現在の経済社会システム自体に根差す問題である。問題のあるシステムは速やかに改廃した上で、新たな社会経済システムを構築していくことが求められている。いかなる社会経済システムとするかは、主体である日本人自身が解き、豊かな人口減少社会を築き上げなければならない。150

問 3

人口減少社会では、まず労働人口の減少が課題としてあげられるが、今後はAI やロボットの普及などによって、人手が不要になる職種も増えるだろう。そうした中で、性別や年齢、国籍等に関わりなく、働きたい人が働ける、技能とライフステージに合わせた多様な就業制度や働きやすい環境を整備していくことが重要である。

高度情報化がさらに進めば、企業の立地や職場、居住地の選択肢は広がる。東京に集中していた経済や情報、文化を地方に分散させ、新しい観光や地場産業の育成を図り、地方での雇用を確保していく。

そのうえで、職場も含めて生活の諸機能が近接したコンパクトシティを築き、公共サービスを効率化していく。また、地域住民が暮らしやすいコミュニティづくりに参画し、地域の人間関係の繋がりを強くして、子育てや高齢者の見まもりなどの地域ネットワークの充実を進める。

人口減少社会というと、ネガティブな側面に目が行きがちであるが、人口減少と低成長を前提とした新しい価値観と生活様式への転換が求められているのではないだろうか。日本各地の豊かな自然や文化を生かした地域産業を掘り起こし、地域や生活の質を重視した多様で持続可能な社会を目指したい。500